

**Q** 小水力発電について。

**A** 経済環境部長 生活する上で電力は不可欠であり、その必要性、重要性を再認識するとともに、地域内での小水力発電を含めた新エネルギーの利活用について、今後の課題として認識し、少し調査、研究してまいりたい。

●エコ対策について

**Q** 期間限定で蓄電タイプの自家発電への助成金について。

**A** 経済環境部長 自家発電導入時の助成の状況ですが、国は、太陽光発電システムの設置・



太陽光パネル

導入に対し、1キロワット当たり4万8千円の補助金、千葉県は新たな事業として、震災後の6月補正予算において、1キロワット当たり2万円、最大7万円の補助を新たに盛り込む予定。市としても、今回の震災での電力確保の必要性が再認識されたことにより、蓄電式などの自家発電装置の普及を図るため、国県等の施策動向を見きわめながら、助成制度を含め、検討する。

●保健福祉について

**Q** うつ対策について、相談に来る方はつながらず安心して、来られない方をどうするかということが、非常に悩ましい問題だと思ふ。

**A** 保健福祉部長 うつ病の方々の把握はなかなか困難である。先進地事例では、全国的に調べてみたら、やはりアンケート等で踏み込んでいくしかない。今回は、保健

所も本年度から本格的に自殺対策を行いたいという指導をいただいている、保健所とも一緒になって、先進地事例をまず参考にし、市民との距離を縮めていけたらと考えている。

**Q** 認知行動療法が行われている病院を、市では把握されているか。

**A** 保健福祉部長 この辺は専門的な治療の一環となつているために、これから行政のほうでは、先生方と話す中で勉強させていきたいと思います。

**Q** うつ対策に向けて、今後どのような御決意か伺いたい。

**A** 市長 今日御提案をいただいたことにつきまして、真摯に受けとめて、対応を図りたい。

**Q** がん検診無料クーポンの平成23年度の取り組みについて。

**A** 保健福祉部長 乳がん及び子宮がん検診の無料クーポン券は、平成21年度、平成22年度のエコー検診のため、有料で受診された方々に対し、遡求し今年度無料クーポン券を送付した。このことから、5歳間隔で、無料検診を受けるというサービスが、公平に受けられることとなる。

**Q** ふれあいデイサービスとの普及と拡大について。

**A** 保健福祉部長 成東にある、ふれあいデイサービスは、わずかに余裕があるが、拡大となればこの施設はもういっぱいなので、ほぼ同様の生きがいデイサービス事業を市内の3つの施設で実施しているので御利用していただくということも可能である。

●環境問題と節電対策について

**Q** 緑のカーテン事業の進捗について。

**A** 経済環境部長 本庁舎では平成20年度から実施、昨年度は9施設、今年度は20施設で緑のカーテンを実施しています。

**A** 教育長 学校でも体験学習という面から積極的に取り組みが進んでいます。

**Q** クールアースデーの発信計画について。

**A** 経済環境部長 本年も地球環境の大切さを感じていただくよう7月7日の七夕の日、施設や事業所、家庭などで一斉に電気を消してライトダウンを呼びかけます。

**●さんぶの森元気館について**  
**Q** レジオネラ属菌の発生経路の解明、対策のマニュアル、専門家の意見聴取、同様施設の視察について説明願います。

**A** 保健福祉部長 現在のところ特定されていません。対策マニュアルは指定管理者のコナミが持っています。専門家の意見を聞いて対応しています。アドバイスを受けながら、適切な安全管理に努めたい。他の自治体についてはアドバイス等を受けて視察したいと考えています。



川原 春夫 議員

**Q** 市民の皆さんの健康維持等、予防医学的見地からさんぶ医療センターの理学療法士に相談する機会は考えられませんか。

**A** 保健福祉部長 センターには市の事業について連携を持つと言う基本的な考え方があるので理事長と協議させていただきます。

**●合併特例債について**  
**Q** そもそも合併特例債とはどのようなもので、どのような事業に充てることができるのか。事業の100%に合併特例債を充てることは可能か。不可能ならば、足りな